

医療事故情報収集等事業 第62回報告書のご案内

1. 集計報告（対象：2020年4月～6月）

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2020年			合計
	4月	5月	6月	
報告義務対象医療機関による報告件数	384	264	304	952
参加登録申請医療機関による報告件数	49	30	35	114
報告義務対象医療機関数	274	274	274	—
参加登録申請医療機関数	822	824	824	—

(第62回報告書 16頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2020年4月～6月	
	件数	%
薬剤	79	8.3
輸血	1	0.1
治療・処置	303	31.8
医療機器等	28	2.9
ドレーン・チューブ	83	8.7
検査	52	5.5
療養上の世話	312	32.8
その他	94	9.9
合計	952	100.0

(第62報告書 17頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業

- 1) 参加医療機関数 1,263 (事例情報報告参加医療機関数 659 施設を含む)
- 2) 報告件数 (第62回報告書 20頁参照)
 - ①発生件数情報報告件数：225,584件
 - ②事例情報報告件数：6,535件

2. 事例の分析

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) リハビリテーションを受けている患者に関連した事例 【24～39頁参照】
- (2) ヘパリン製剤の投与量を誤った事例 【40～53頁参照】
- (3) 患者の咀嚼・嚥下機能に合わせて食種を選択したが、想定していなかった食物が提供された事例 【54～63頁参照】

3. 再発・類似事例の分析

これまでに、「分析テーマ」や「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例の分析のテーマは下記の通りです。

- (1) 有効期間が過ぎた予防接種ワクチンの接種 (医療安全情報 No. 60) 【69～80頁参照】
- (2) 術前に中止する薬剤の把握不足—経口避妊剤— (医療安全情報 No. 125) 【81～87頁参照】

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。